



毎週土曜日 午後7時～9時
 場所 西合志図書館天文台
 参加費 無料
 ※雨天・曇天の場合中止します。
 天候が優れないときは、来館前に電話でご確認ください。

☆自宅で観る2月の星空☆

明るい星が多い中、南の空におおいぬ座のシリウスが一番明るく輝いています。その右上に、ほの赤い明るい星(ベテルギウス)と三つの星の並びを目印に大きな縦のリボンを見つけれたら、それがオリオン座です。シリウスとベテルギウスのラインに沿うように、淡く天の川が星空を横切っています。郊外の暗い所だとよく見えるでしょう。

図書館掲示板

★西合志図書館 (☎242-5555)

- ♪マインドシアター(入場無料)♪
 と き 2月24日(土) 午後1時～
 ところ 「西合志図書館集会所」
 題 名 『マダカスカル』
- ♪おはなし会(入場無料)♪
 と き 毎週土・日曜日 午後2時～
 2月3・4・10・11・17・18・25日
 3月3・4・10・11・17・18・25日
 ところ 西合志図書館「おはなしの部屋」
- ♪かみしばいがやってくる!♪
 昨年秋の上演が大好評だった移動紙芝居屋さんが、春休みに西合志図書館にまたまたやってきます!
 拍子木の音を目印に、みんな集まれ～!
 と き 3月25日(日)午後2時～3時
 ところ 西合志図書館周辺(雨天の場合は屋内)
 ※上記の時間中、図書館の周りのどこかで紙芝居を上映しています。
 参加費 無料

★合志図書館 (☎248-5754)

- ♪ふれあい映写会(入場無料)♪
 と き 2月18日(日) 午後1時30分～
 ところ 「多目的研修室」合志図書館よこ
 題 名 『平成狸合戦 ぽんぽこ』
- ♪ふれあいおはなし会(入場無料)♪
 と き 毎週土曜日 午後2時30分～
 2月3・10・17・24日
 3月3・10・17・24日
 ところ 合志図書館「おはなしコーナー」

※おわび

2月21日(水)に予定していました「ふれあい読書講座」第2回は、講師の都合により中止とします。ご迷惑をおかけしますが、ご了承ください。

2・3月の休館日

2月5日(月)・13日(火)・19日(月)・26日(月)・28日(水)
 3月5日(月)・12日(月)・19日(月)・26日(月)

移動図書館車
 「ひまわり
 ドンちゃん号」巡回

現在、合生・須屋・野々島・上生を巡回しています。年間巡回予定表は西合志図書館・移動図書館車にあります。



西合志図書館 (☎242-5555)
 合志図書館 (☎248-5754)

『おじいさんがかぶをうえました』

福音館書店

月刊絵本「こどものとも」は、毎月わたしたちに良質のおはなしを届けてくれる雑誌です。創刊50周年を迎えた2006年までの軌跡をまとめた本書は、全作品のリスト、絵本作家の寄稿や、原画、技法などを公開しています。西合志・合志本館にはバックナンバーもありますので、本書を参考に「絵本の旅」へ出かけてみませんか？



雑誌『STORY』

先月から合志本館に新しく入った40歳代向けの女性雑誌。ファッションに限らず、インテリア・スポーツ・健康・生き方までも含めたライフスタイルを提案・応援する生活情報誌です。家事や育児で疲れたときにも気持ちを豊かにしてくれます。そのほか、市立図書館所蔵の全190誌の雑誌も気軽にお楽しみください。



新刊お薦め本

新着本

一般書

- 『空色ヒッチハイカー』 橋本 紡
- 『スクール・デイズ』 ロバート・B・パーカー
- 『テロルの真犯人』 加藤 紘一
- 『戦国時代用語辞典』 外川 淳 編著
- 『朝鮮半島「核」外交』 重村 智計
- 『明智の娘ガラシア』 家村 耕
- 『活断層』 堺屋 太一
- 『桂三枝の笑ウインドウ傑作選』 桂 三枝
- 『グルメ以前の食事作法の常識』 小倉 朋子
- 『最新農業の動向とカラクリがよ〜くわかる本』 筑波 君枝
- 『「サラ川」傑作選すごろく』 山藤 章二(他) 撰
 布施 克彦

児童書

- 『マリオネット・デイズ』 篠原 まり
- 『ベストフレンド あたしと犬と!』 堀 直子
- 『誌はともだち みみずのたいそう』 市川 紀子 編
- 『ぜんまいざむらい ことば免許皆伝』
- 『ザリガニがきえる?』 谷本 雄治
- 『お金の流れがよくわかる株の絵事典』
- 『命のボタンタッチ』 今西 乃子
- 『幸福の王子』 オスカー・ワイルド
- 『コンビニたそがれ堂』 村山 早紀
- 『ひとりじゃないって』 小宮山 佳
- 『どんぐりと山猫』(絵本) 宮沢 賢治
- 『わたしから、ありがとう。』(絵本) 河原まり子



『未来のきみが待つ場所へ -先生はいじめられっ子だった』 宮本 延春 著

現在、高校教師である著者の中学最初の通知表はオール1! 父親の暴力や貧困に加え、小中学校はひどいじめにより不登校でした。高校へは行かず働いていた23歳のとき転機が訪れます。人生の目標を見つけ高校に入学、九九さえすべて言えなかった状態から猛勉強し、難関国立大

学合格するのです。本書は、いじめのつらさ、勉強がわからない苦しさ、そして勉強の面白さを知る著者からの、悩んで苦しんでいる十代の人たちへの応援メッセージが詰まっています。著者のメッセージ、どうか受け取ってください。小中学生にぜひ読んでほしい一冊です。

今旬の本